

平成27年度施策評価調書

整理番号	29
評価担当課	生涯学習課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	スポーツ振興事業		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主要施策	8	生涯スポーツの振興

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	①市民ランナーを対象に大会を実施するとともに交流人口の拡大を図る ②市民を対象に、「スキー子供の日」無料開放に合わせた、大人を対象とした無料開放による普及
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	①参加者が申し込みやすいようにインターネットを活用した受付を昨年より実施している。 ②市広報、ホームページを活用し、新聞広告による周知を行っている。
施策の課題	①ピヤシリスキー場を折り返すコースで、通行止となっていないため、キロごとにスタート時間を設定するなど工夫はしているが、参加人数が多くなると交通に伴う警備体制が必要となる。 ②時期が遅くなると参加者が減ってくるので、歩くスキー大会と合わせたPRを行う。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
参加人数(憲法記念ロードレース)	参加人数	目標値	280	610	350	1,560
		実績値	276	581	419	
		進捗率	99%	95%	120%	
参加人数(市民スキーの日)	参加人数	目標値	100	150	200	
		実績値	110	202	223	
		進捗率	110%	135%	112%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	①参加者が申し込みやすい方法の検討及び記録・表彰等に伴う運営の効率化について平成25年度から実施。 ②参加者が徐々に増加しているため内容を検討しながら実施する。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

①63年の歴史ある大会で、過去に3度1000人以上の参加申し込みがあったので、1000人を目指したい。
 ②少しでも多くの市民にスキー場を利用してもらえるようPRを図りたい。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	憲法記念ロードレース開催事業	3k・5k・10k・ハーフの各組別で実施	2,707	a	b	b	b	a	A		
2	市民スキーの日開催事業	一般(高校生以上)を対象にリフト無料開放及び教室実施	834	b	b	b	d	b	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	29	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	生涯学習課スポーツ振興係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	憲法記念ロードレース開催事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	8	生涯スポーツの振興
		基本事業	2	スポーツ振興事業
		実施計画事業		

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	市民ランナーを対象に大会を実施するとともに交流人口の拡大を図る		
対象(何を又は誰を)	一般市民ランナー		
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	インターネット、郵便振替、窓口での受付		
意図(どのような成果を期待しているか)	インターネットを利用することによって、多くのランナーへの情報提供		
事業実施主体	なよろ憲法記念ロードレース実行委員会		
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託 <u>補助等</u> 請負 その他()
事業実施期間	始期	28 年度	終期設定 有 (終期 年度) <u>無</u>
根拠法令・条例等			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 参加人数	人	目標	610	350	610	600	1,560
			実績	581	419	587	702	
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1 参加人数	人	目標	610	350	610	600	1,560
			実績	581	419	587	702	
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	2,247	1,713	2,707	2,943	市負担金 1,500千円 参加料等 1,207千円	
国道支出金						
地方債						
その他	847	1,313	1,207	1,383		
一般財源	1,400	400	1,500	1,560		
人件費	668	663	663	663		
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数						
総事業費	2,915	2,376	3,370	3,606		
対前年比(%)	—	82	142	107	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	5	6	6	5	総事業費/実績人数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無 インターネットでの申し込み、計時計測機械を使った記録集計。

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	市が主催し歴史ある大会
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	市外からの参加者が多い
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	競技運営経費が増額となっているが機器を使用したスムーズな運営が出来るようになった。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	機器の使用に伴い、一般の部の参加料を増額した。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	インターネットによる申し込みが定着してきている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	現状のまま継続し、参加者の状況を見て検討する	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	29	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	生涯学習課スポーツ振興係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	市民スキーの日開催事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	8	生涯スポーツの振興
		基本事業	2	スポーツ振興事業
		実施計画事業		

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	市民を対象に、「スキー子供の日」無料開放に合わせた、大人を対象とした無料開放による普及			
対象(何を又は誰を)	市内の一般(高校生以上)を対象に			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	市広報及びホームページ、新聞記事による市民周知			
意図(どのような成果を期待しているか)	スキー離れが進んでいる中、市民による施設の利用拡大			
事業実施主体	市民スキーの日実行委員会			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	24 年度	終期設定	有 (終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績
活動指標	1 参加人数			目標	100	150	200	250	250
				実績	110	202	223		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
成果指標	1 参加人数			目標	100	150	200	250	250
				実績	110	202	223		
	2			目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	407	641	834	840		
国道支出金						
地方債						
その他						
一般財源	407	641	834	840		
人件費	669	663	663	663		
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数						
総事業費	1,076	1,304	1,497	1,503		
対前年比(%)	—	121	115	100		コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	10	6	7	6	総事業費/実績人数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () <input checked="" type="radio"/> 無 初心者・初級者のスキー・ボードの教室を取り入れた

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	b	スキー人口の減少が叫ばれる中、親子でスキーに親しむ1日として施設の利用拡大を目指す
有効性		
目的を達成するための方法として有効か？	a	スキーに親しんでもらう位置づけとしては有効と思われる
効率性		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	すぐに成果は見えないが、レンタルを借りる人の参加もあるので有効と思われる
公平性		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	d	スキーの日の開催によりスキー客の増加を期待している
達成度		
活動指標、成果指標の達成度は？	b	徐々に参加者が増加しているので成果は上がっていると思われる

5 1次評価

評価結果	理由	
A	市民スキー大会から変更し実施していますが、現状のまま継続し内容を検討しながら参加者の増をねらいスキー人口の拡大を目指します	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり